

佐 潟 通 信

2014年5月

49号

◆新潟は雪の少ない冬、白鳥の動向は？

関東では大雪の被害が発生したこの冬ですが、新潟市内周辺では例年より雪が少なく、佐潟で除雪をしたのは2～3回程度。福島潟や瓢湖のある内陸でも積雪が少なめでした。

そのためか、降雪による白鳥たちの大きな移動は見られず、佐潟での最大飛来数も4500羽ほどと、比較的穏やかな冬となりました。

春先の雪解けも早く、2月末には1週間で約3000羽から0羽へ急降下。その後は南からの立ち寄り組がみられる程度で、白鳥シーズンは別れを惜しむ間もなく終了したのでした。



凍結した湖面で眠る白鳥たち（白いおまんじゅうみたい）



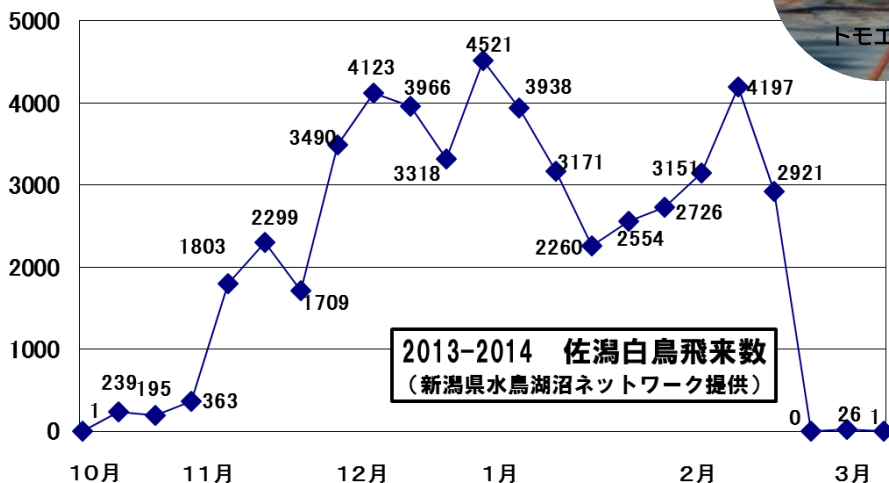
ヒシクイは
1月中旬～2月頃
最大180羽が
飛来しました



トモエガモ



オジロワシは
昨年までと
同一個体か？
（観察者提供）



◆ヘラサギ 2年連続飛来

昨シーズン、8年ぶりに佐潟にヘラサギが飛来し話題となりましたが、なんと今シーズンもヘラサギが佐潟で冬を越してくれました。今季は11月9日（偶然？昨年と同じ日）から3月11日まで確認され、しゃもじのようなくちばしを水中でかきまぜ採食をしたり、水辺の茎をひろいあげるしぐさなどが観察されました。

ヘラサギは市内他の湖沼でも目撃情報があり、越後平野に複数個体が飛来しているようです。来年もまた会えるといいですね。



今季佐潟に飛来したヘラサギ
(観察者提供)

◆佐潟ボランティア解説員 増員！

佐潟来訪者に佐潟や自然の魅力、楽しみ方を伝える「佐潟ボランティア解説員」をH25年度追加募集し、新しく17名の皆さんに登録いただきました。

解説員の皆さんは第2・4土曜に開催している「佐潟自然散歩」「佐潟探鳥散歩」の観察の指導をしてくれるほか、土日祝日に湿地センター館内・館外で解説活動をしています。

佐潟にご来訪の際、解説員を見つけたら話しかけてみてください。きっと、新しい佐潟の魅力に出会えるはずです。



4/27
(日)

小鳥さえずる上潟 春散歩

解説員の皆さんから、魅力的な春の上潟を案内いただきました。ちょっと訛った？ウグイスのさえずりや、エナガやシジュウカラが餌を運ぶようすなどを観察しました。さて帰ろう…としたらカワセミが目の前に！柔らかな若葉と桜吹雪に包まれ、気持ちの良い散策となりました。

◆新潟市をあげて「潟」に注目

潟のPRキャンペーン「水の潟ログ」
4月19日～6月15日



JRなどが主催する観光キャンペーン「新潟ディスティネーションキャンペーン」の開催に合わせ、新潟市は「潟のPRキャンペーン」を開催しています。新田開発のため多くの潟が干拓された中、新潟市には佐潟のほかにも、福島潟(ふくしまがた)、鳥屋野潟(とやのがた)など、たくさんの潟が残されています。そのどれもが個性的・魅力的で、かつては生活を支える大切な存在でした。これまで潟に注目が集まることは多くありませんでしたが、今回のキャンペーンが新潟市の大切な宝物を見直すきっかけになればと思います。

1/18
(土)

佐潟ビギナーズ写真教室

講師の指導の下、飛び立つ白鳥や冬枯れの潟を撮影しました。
■講師：小山 聖志さん(フォトショップ「サムセング」)



「私の佐潟」文化祭 2014年1月22日(水)～3月9日(日)

写真や絵、詩歌など、佐潟をテーマにハガキサイズの作品を募集、展示。今年はバードカービング(木彫りの鳥)や精巧な折り紙作品など立体作品も多数応募されました。会期中には、ハワイアンコンサートとマジックショーのステージ発表が行われ、好評を博しました。

- 応募者数44名 / 応募点数86点
- 作品の種類 / 写真、イラスト、川柳、立体作品など



お知らせ 【佐潟自然散歩】

3～10月の毎月第2・4土曜日
9:30～11:00/参加無料、申込不要。
直接、佐潟水鳥・湿地センターにお越しください。



佐潟水鳥・湿地センター利用のご案内
【開館時間】9:00～16:30(冬期間11月から2月の土・日は7:00から)
【休館日】月曜日(祝休日の場合は翌日)、年末年始(12月29日～1月3日)

編集 佐潟水鳥・湿地センター
〒950-2261 新潟市西区赤塚5404番地1
電話025(264)3050/FAX 025(264)3051
E-mail: sakata.wlc@alpha.ocn.ne.jp
発行 新潟市西区役所地域課文化・スポーツ係
〒950-2097 新潟市西区寺尾東3丁目14番41号
電話025(264)7193

佐潟についての情報、質問等ありましたら、お気軽にご連絡ください。